

区分	指定別	なまえ・所ざい地	せ つ め い
有形文化財	まち町	しんたつにぐんそんえすびょうぶ 信達二郡村絵図屏風  たてうち 館ノ内20	えんほうねんかん(1670年代)の作と推定される。信夫、伊達の両郡をえがいた屏風で、道路、川、人物、たてものをとり入れたえがき方をした村絵図である。
	まち町	ふしぐるかわざしよせぐら 伏黒川岸寄蔵  ふしぐるあざかわざし 伏黒字川岸5	かんぶんねんかん(1660年代)以後の、阿武隈川東西の村々の年貢米を保管した「寄蔵」のふるい形を残している。
史跡	まち町	ぎみんさいどうひこないはか 義民斎藤彦内の墓  ふくげんじ 福巖寺	かんえんねん(1749年)桑折代官所配下60あまりの村におきた百姓一揆の三義民の一人である斎藤彦内の墓。
	まち町	こうだいじくようとう 光台寺供養塔  こうだいじ 光台寺	ちゅうせいりゅうこういしづくいたびきしゅうおうねん(1289年)ときざまれたものもある。死んだ人のめい福を祈るためたてたとみられる。
	まち町	さいねんづかおよもんじよいつかつ 西念塚及び文書一括  かわらまち 川原町91	かんぶんねん(1668年)すりかみ川のはんらんにごまっている村人をすくうため生きたまま人柱となった西念上人の碑、大けやき及び弟子浄心の残した文書。
跡	まち町	おがじんやあと 岡陣屋跡  おかまえちない 岡前地内	げんろくねん(1701年)からかんえんねん(1749年)までのあいだの信夫、伊達両郡のうち9万5千石をおさめた代官所のあと。
	まち町	あぶまつばらひ 阿武の松原碑  はこざきあざはらまち 箱崎字原町	たいじねん(1127年)にあらわされた金葉和歌集にも阿武の松原の歌がよまれている。その当時、日本の三松原のひとつといわれた。